

— 学校で学ぶ ・ 家庭で生きる ・ 地域で創る これが上鷺宮 —



# 上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

[http:// nk-kamisagi-e.a.la9.jp/](http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/)

開校42年

No.470

令和2年度

学校だより 10月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

Tel 3926-6381

## 読書の秋です ～読解力の向上を目指して～

副校長 松久保 雅和

7月は延々と梅雨空が続き、8月に入ると猛暑の日々で農家の作物が育たないという被害が出ました。地球温暖化の影響で日本の気候も大きく変動していると感じます。9月になり、厳しい残暑が続く予報でしたが、後半は雨天で比較的過ごしやすい陽気となりました。児童は夏休み明けのこの1か月、とても落ち着いて過ごすことができました。

そして、9月26日（土）にコロナ禍で初めて全校での行事を行うことができました。『かみさぎオリエンテーリング』です。学校中に隠してある12個の言葉を見つけて、どんな文になるかを当てるゲームです。6年生が中心となって企画を考え、代表委員会で準備を進めてきました。3密を避けながら開催し、楽しく答えを見つけていました。学校は本来楽しいところです。行事などでの友達との関わりを楽しむことも大事な学習です。今後もコロナ感染防止に十分気をつけながら、学校生活を送っていきます。

最近朝晩かなり涼しくなってきました。比較的過ごしやすい10月は「〇〇の秋」と言われます。中でも「読書」にはぜひ子どもたち一人ひとりに積極的に取り組んでほしいと考えています。それは、読書によって語彙力、論理的思考力、創造力を高められるからです。これらの力は、これからのAIが浸透した時代にとっても重要になってきます。10年後、20年後には、現在ある職業の約半数がAIによって代替されるとの予測も散見されます。数学者の新井紀子氏の著書によれば、AIにはできない仕事に就くことができる力を身に付けておかなければならない、と記されています。AIにできない仕事とは、高度な読解力と常識、人間らしい柔軟な判断だそうです。これらの力は、先述の語彙力、論理的思考力、創造力が高まることによってより向上します。

本校では国語の授業以外にも朝読書や読書週間を設定して、読書への関心を高める取組を行っています。また、すべての授業で読む、書く、話す、聞く言語活動を充実させています。これは言葉を大切にできる児童を育成し、コミュニケーション能力や思考力を向上させることを目標としています。スマートフォンやICT機器の普及で活字離れが危惧されています。学校でも子どもたちの読書欲を高めていきますので、ご家庭でも子どもたちが本に触れる機会をもてるようご協力をお願いします。そして、深まりゆく秋を「〇〇の秋」で充実させたいですね。

10月の生活目標

## 自分の生活を見直そう